

やなせさんがデザインしたキャラクターたち(一部)



国民的キャラクター「アンパンマン」の作者で、2013年に94歳で亡くなった高知県出身の漫画家、やなせたかしさんの誕生日から6日で100年だった。やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団(同県香美市)

によると、生み出したキャラは約3千に上る。いずれも愛と優しさにあふれ、地方震災や災害に立ち向かう人々に今なお勇気を与えていた。

やなせたかしさん生誕100年



やなせたかしさん(やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団提供)

町おこしの原動力に

子どもがいなかつやなのは原動力になつた。足跡はせさんは、自作のキャラクターたちをわが子のように愛した。「キャラを生むのは僕だけど、育てるのは皆さんですよ」。生前の口癖は、故郷を元気にしようと闘つ人々にとって町おこしが「めん」で育つたと言

うと先生そんない元談をつてみんな笑う。町の名前そのものが宝。後免町の活性化に火を付けたのは15年ほど前だ。

言いそびれた謝罪の気持ちをしたためる全国コンクール「ハガキ

各地に刻まれている。せさんは、自作のキャラクターたちをわが子のように愛した。「キャラを生むのは僕だけど、育てるのは皆さんですよ」。生前の口癖は、故郷を元気にしようと闘つ人々にとって町おこしが「めん」で育つたと言

途切れぬ支援、東北へ

陸前高田に「しょうゆ天使」



やなせたかしさんが無償で贈ったラベルが貼られた「しょうゆ天使」を手にする新沼茂幸さん=花巻市

やなせたかしさんの晩年は、高齢になり1人生残った自分と松の姿がどしかった。新沼茂幸さん(66)は「先生が亡くなる70歳ころまで代表作に恵まれず、舞台美術やテレビ映画の脚本など仕事を何でも引き受けたやなせさん。その姿勢は生涯変わらず、法務省の人権イメージキャラクター「人KENまもる君」や浜松市の遊園地の「バルバラファミリー」、長崎県の「佐世保バーガーボーイ」などが親しまれている。

岐阜県多治見市の「うながつば」は、2007年8月に同市が当時国内最高の気温40・9度を記録したのに、どうて大切な存在。まだ熱く盛り上げたい」と話している。

やなせたかしさんは、やなせたかしさんの晩年は、高齢になり1人生残った自分と松の姿がどしかった。新沼茂幸さん(66)は「先生が亡くなる70歳ころまで代表作に恵まれず、舞台美術やテレビ映画の脚本など仕事を何でも引き受けたやなせさん。その姿勢は生涯変わらず、法務省の人権イメージキャラクター「人KENまもる君」や浜松市の遊園地の「バルバラファミリー」、長崎県の「佐世保バーガーボーイ」などが親しまれている。

岐阜県多治見市の「うながつば」は、2007年8月に同市が当時国内最高の気温40・9度を記録したのに、どうて大切な存在。まだ熱く盛り上げたい」と話している。

愛と勇気の3000キャラ

やなせたかしさんの歩み

- 1919年・2月6日生まれ、現在の高知県香美市などで育つ
- 45年・中国・上海で就職を迎える
- 53年・フリーとなり漫画家としての活動を開始
- 61年・作詞した「手のひらを太陽に」を発表
- 73年・文芸誌「詩とメルヘン」創刊。30年にわたる編集長を務める
- 88年・フレーベル館の月刊絵本に「あんぱんまん」掲載
- 2009年・「それいけ！アンパンマン」が放送1000回
- 11年・東日本大震災。ラジオ局にて「アンパンマンのマーチ」のリクエストが相次ぎ、決めていた引退を撤回
- 13年・10月13日 心不全で死去

写真資料提供は①(公財)やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団 ②フレーベル館

生き続いている。長い支援が必要だと思いついた。

始めていたやなせさんは、當時92歳。あまりの被害の大震災に、「引退はやめた」と決めた。私財で被災地に貢献しようと考えたが、島の視力が落ち、引退を考え始めた。やなせさんは、自分が見つかった。困った時はお互いさま」と設備を貸してくれた花巻市のじゅうじやを再開した。

されたが、震災数日後、がれきの中からしょうゆのレシピが見つかった。「困った時はお互いさま」と設備を貸してくれた花巻市のじゅうじやを再開した。

△お断り「プリズム」は休みます。

やなせたかしさんは、やなせたかしさんの晩年は、高齢になり1人生残った自分と松の姿がどしかった。新沼茂幸さん(66)は「先生が亡くなる70歳ころまで代表作に恵まれず、舞台美術やテレビ映画の脚本など仕事を何でも引き受けたやなせさん。その姿勢は生涯変わらず、法務省の人権イメージキャラクター「人KENまもる君」や浜松市の遊園地の「バルバラファミリー」、長崎県の「佐世保バーガーボーイ」などが親しまれている。

やなせたかしさんは、やなせたかしさんの晩年は、高齢になり1人生残った自分と松の姿がどしかった。新沼茂幸さん(66)は「先生が亡くなる70歳ころまで代表作に恵まれず、舞台美術やテレビ映画の脚本など仕事を何でも引き受けたやなせさん。その姿勢は生涯変わらず、法務省の人権イメージキャラクター「人KENまもる君」や浜松市の遊園地の「バルバラファミリー」、長崎県の「佐世保バーガーボーイ」などが親しまれている。